

夫婦三代、ひ孫3人の大家族



夫婦三代で農業を営む田上さん一家



田上さん一家が育てているサツマイモ畑

夫婦三代で農業を営む田上さん一家に出会いました。田上瑞男さん(83)と妻のノリ子さん(81)、次男の勝志さん(56)と妻のミナ子さん(57)、孫の勇人さん(33)と妻の沙季さん(32)の6人は毎日、畑で元気に汗を流しています。

これまで息子の勝志さん夫婦を中心農業を営んできましたが、これらは孫の勇人さん夫婦の時代です。「祖父や父の背中を見ながら大きくなりました。農業は自然が相手なので大変ですが、やりがいを感じています」

「昔は牛や馬ば引いて畠ば耕しそうたばつてん、今は機械化され便利になつたですね」と話す瑞男さんの肌つやのいいこと。「少しでも力になれたら、と思えることが元気の秘訣です」

田上家は夫婦三代にひ孫3人の9人という大家族。さぞや食事も団らんのひとときもにぎやかなことでしょう。「ひいじいちゃんと3歳のひ孫による80歳差の口げんかは、とにかく面白いですよ」とミナ子さんが笑うと、隣で沙季さんも「同感、同感」と笑顔で応えました。

仲良し夫婦の花壇

堂園地区のちょうど真ん中、定期便のバスが通る道路沿いにある新村さんの庭では、季節ごとに色とりどりの花が咲き誇ります。バラや山野草、ハーブなど数種類の花々が花壇を彩ります。

「花の季節は春が一番ですが、一年を通していろんな花を育てています」と話すのは新村弥生さん(62)です。

「地震で被災し家を建て替える時に、生け垣を作ることも考えましたが、ここに花を育ててどなたにも見てもうしたらと、あえて開放的な場所にしました」と夫の司さん(69)。

「朝の散歩で『まあ、きれいかねえ』



休日は仲良く植物園巡りをする新村さん夫婦



色々な花が咲く新村さんの庭